

数かずの悪政 鈴木首相は退陣は当然

いまこそ政治の転換を

鈴木首相

いまこそ政治革新のとき

反核 平和のうねりを 10・21

行動へ

反動路線が立派な力がある
追いこんだ世論の力

代では、支持率はわずか
8%で指導力・物価・景
気対策・行政改革・防衛

いよいよ重大な
日です 10・21

10月12日、鈴木首相は突然の退陣

表明を行いました。その根底には自
民党政治と国民要求との避けがたい

矛盾があります。

レーガン政権の限定核戦争構想に

そつた下16配備をはじめとする大軍

拡張路線と人効率など限りの

ない国民生活破壊と史上最悪の財政

破壊、教科書問題やロッキード問

題にみられる戦犯性と政治腐敗――

鈴木内閣の二年余にわたる悪政の数
かずは、国民と青年に激しい苦痛
をもたらすものでした。

9月に行われた一連の世論調査

においても鈴木内閣の支持率が16%

%（毎月）26%（朝日）と大きく
下落し、遂に不支持率が50%を

こうした国民党や青年の「ノー」の声こ
そが政治の底を流れる「強大な流れ」と
なって鈴木首相を退陣に追いこんだので
す。

自民党やマスコミの関心は一気に後れ

者争いに注がれています。しかし、金権

戦犯、売国の同じ根をもつ自民党には、

もはや今日の危機を解決しうる展望も能

力も期待することができません。今こそ

革新がう国民の統力をあげて政治革新
にむかうときです。鈴木退陣へ追いこん
だ声と力を自民党政治の真の転換・政治

革新へと大きく発展させなければなりま
せん。



▼全京大集会 12時 法経4教室



▼全京都学生集会 4時半 時計台前



▼京都集会 6時 円山野外劇場

日本民主青年同盟

京大地区委員会

国民の团结の力であの岸内閣を打倒した、
60年安保闘争という伝統をくづぐ10・21
全国統一行動は今年も「安保戦争」露譲反対
機兵器全面禁止などを掲げておこなわれます。
私たちの反核・平和の願いを真に実現させ
るためにも、自民党政治に「ノー」をつきつけ
るためにも、新しい革新・統一による政治
を実現するためにも、この唯一の全国的革新
勢力統一行動日である10・21をどうしても大
々的に成功させる必要があります。みなさん
が、これにむけて革の根からの学習・行動に
とりくまれ、ともに集会へ参加されるよう
訴えます。